

育てて、守って、森林づくり ～カードゲームが拓く森林環境教育～

東北森林管理局

米代東部森林管理署 一般職員 ○鍵谷 桜(元 三陸中部森林管理署)
盛岡森林管理署 一般職員 ○谷澤 風音(元 三陸中部森林管理署)
三陸中部森林管理署 一般職員 鱈田 侑誠、大脇 航平、檜山 紗希
事務管理官 佐々木 慎平
企画調整課 監査官 村上 健児(元 三陸中部森林管理署)
技術普及課 一般職員 太田 幸樹(元 三陸中部森林管理署)

1 はじめに

三陸中部森林管理署では管内の中学校で森林教室を行っています。従来は講義形式の授業を行っていましたが、一方的になりがちであるため、子どもたちに主体的・対話的に森林づくりを学んでもらえるようにカードゲームを開発し、普及活動を行いました。

2 取組・研究方法

(1) カードゲーム「ZORING」の開発

4、5人で80枚のカードを使用し、森林被害の対策をしつつ、地拵～主伐までの森林づくりを目指す対戦型カードゲームを開発しました。

(2) 小・中学校でZORINGの活用

管内の教育委員会の協力を得て、小学校2校、中学校2校でZORINGを用いた、森林環境教育を実施しました。



(写真：ZORING)

(3) ZORINGの普及活動

地域の産業まつりなどでの普及活動や消費者の部屋での展示、SNSでのPRを行いました。また、新聞に掲載されたり、ラジオに出演したりしました。さらに、岩手県職員への講習会や鹿児島大学の先生など外部有識者との意見交換を行いました。

(4) 東北森林管理局HPでデータを公開

カードゲームのデータやルールブック、学習用スライドなどを東北森林管理局HPで公開しました。

3 結果

ZORINGを体験した方々の感想やアンケートから、森林づくりや被害等について理解できたことや林業について興味をもったことが分かりました。実際に森林整備について簡単なクイズを行ったところ、86%の方が正解でした。アンケートの自由記述や直後の感想では、「森林づくりの方法や1本の本木ができるまでの大変さを知ることができた」「こんなルールがあると盛り上がるのでは」といった、好意的な内容のものが多く寄せられました。

自治体や団体からはZORINGの貸出しの希望や問い合わせがあり、実際にイベントや森林学習に活用されています。その結果、雨天時の森林や林業の知識を深めるツールとしても有効であること、公開されているルールブックだけではわかりにくい点があることが分かりました。

4 考察・結論

子どもたちが森林づくりに興味をもつきっかけとして、ZORINGは効果的であると考えられます。今後、HP上でZORINGを活用する人が増えていきます。ZORINGがルールブックなどを含めた1つのパッケージとして充実するように改良していきながら、ZORINGを活用した森林環境教育を推進していきます。